



夏の終わりを彩る 花火大会

8月27日、高崎町で、第37回たけはら夏まつり花火大会が開催され、約18,500人の来場者で賑わいました。

3,000発の花火が夏の瀬戸内海を鮮やかに彩り、海上から大きな花火が打ち上がると、会場からは歓声と拍手が沸き起こりました。



災害から身を守れ！！ 総合防災訓練

9月3日、バンブー公園で、竹原市総合防災訓練が行われ、市民・企業・行政などが訓練に参加しました。

Tシャツを使った応急担架の作り方やバケツリレーによる初期消火訓練など実践的な訓練をはじめ、ヘリコプターによる吊り上げ救助や中高層建物からの救助活動が行われました。



認知症を受け入れるとは・・・

9月4日、市民館及び忠海公民館で、認知症ドキュメンタリー映画の上映会が行われました。

認知症で徘徊を繰り返す母とその母を見守る娘。認知症を受け入れるとは…、老いとは…、人間とは…、様々なことを考えさせられる映画でした。



地域で認知症の人の見守りを

9月10日、保健センター周辺で、竹原地域医療介護推進協議会による認知症徘徊模擬訓練が行われました。

今回の訓練は、徘徊者の位置情報を把握する小型の電波発信機の実証実験が中心で、今後実用化に向けた検討を進めながら、認知症の人が暮らしやすい地域づくりに引き続き取り組みます。



マンガ家の気持ちを体験

9月9日、荘野小学校で、比治山大学短期大学部の久保講師と、学生の松原さんによる「～ぶらまちアート～歴史・町・広島竹原藝術祭」の関連イベント“4コママンガをつくろう～リレーマンガ編～”が行われました。

5・6年生31人の児童たちは4人一組の班となり、まず4コママンガの1コマ目を描き、2コマ目以降は班の残りのメンバーがリレーして描き、合作の4コママンガを完成させました。

作品は、10月15日から20日にかけて、たけはら美術館文化創造ホールで展示されます。



ネコの目線で竹原散策 キャットストリートビュー

9月16日、町並み保存地区で、「陶工房風土」の飼いネコ漱石を広島県竹原支局路地裏観光課長に任命する辞令交付式が行われました。漱石は、現在WEBで公開中のネコの目線を疑似体験できる「広島キャットストリートビュー竹原編」(<https://hiroshima-welcome.jp/catstreetview/takehara/>)で、案内ネコとして登場しています。みなさんもネコになった気分で、ネコ目線の竹原を散策してみたいかがでしょうか。